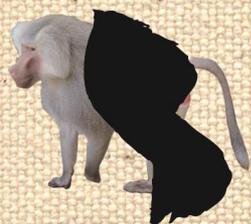




全国の飼育係と京都大学が語る
動物園のうらばなし

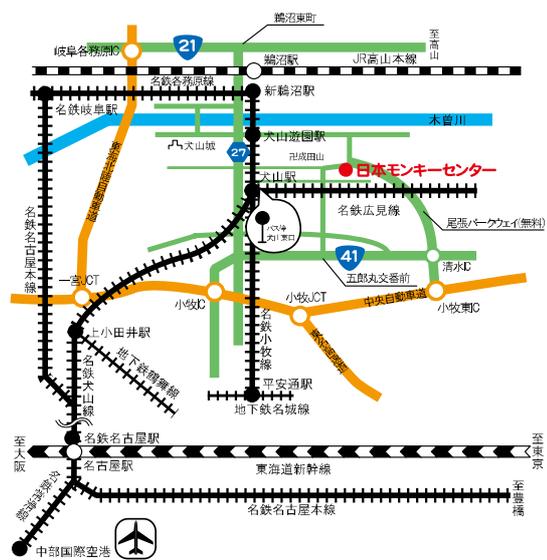
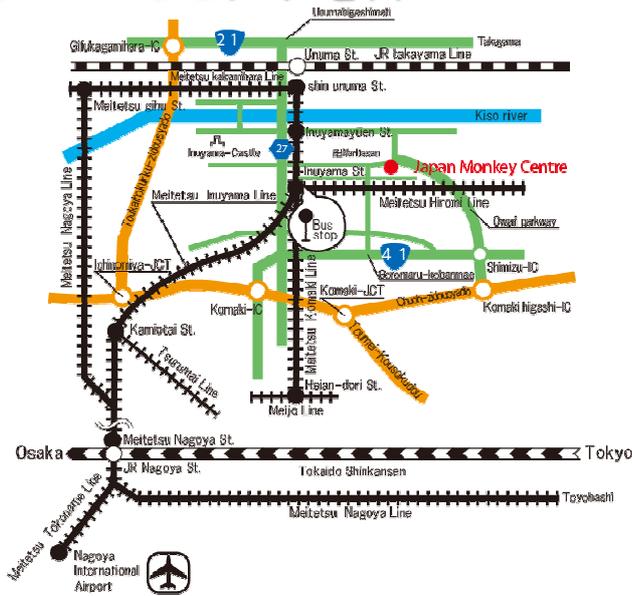
Zoouniversity
動物園大学 **6**
in 犬山



2016
3/20
(日)
財団法人日本モンキーセンター



Access アクセス



 Address: 26 Kanrin, Inuyama, Aichi 484-0081 JAPAN

 Transportation
 20-minute walk from Inuyama Station on the Meitetsu Inuyama Line.
 To Inuyama Station
 From Meitetsu-Nagoya Station
 About 25 minutes by the Rapid Limited Express (Kaisoku Tokkyu) or Limited Express (Tokkyu).
 From Central Japan International Airport Station
 About 55 minutes by μSKY Limited Express (Myu Sukai)

 名神高速道路小牧 I.C.及び、名古屋高速道路小牧線小牧北 I.C.から国道41号線経由約 20 分
 中央自動車道小牧東 I.C.から尾張パークウェイ経由で約 10 分

犬山駅から徒歩(約 20 分)

 犬山駅までは:
 名鉄名古屋駅より犬山線特急で 26 分、中部国際空港よりミュースカイで 55 分。犬山駅下車。

共同利用・共同研究

絶滅の危機に瀕する野生動物（大型哺乳類等）の保全に関する研究拠点



京都大学野生動物研究センターは、野生動物や動物園などの飼育下の動物を主な対象として、基礎研究や保全研究ならびに野生動物や自然環境への理解を深めるための教育活動などを推進しています。このような基礎研究や教育活動をより広範に進めるため、共同利用・共同研究として、当センター以外の方の研究をサポートし、共同研究を行っています。日本で唯一の野生動物保全研究の拠点を構築し、野生動物の保全をよりいっそう社会に根付いたものにしていくことを目指しています。

<http://www.wrc.kyoto-u.ac.jp/>
 (公募は毎年1月)



※写真は、2012年度および2013年度採択者のみなさんが対象としている動物や調査の様子です。ご提供くださった方々に感謝いたします。



Program フ로그램

午前の部(於:日本モンキーセンター・ビジターセンターホール/ Venue: Visitor Center of Japan Monkey Centre)

9:30 開場・受付(入園ゲート) Registration

9:45 開会のあいさつ Opening Remark

松沢哲郎 Tetsuro MATSUZAWA (日本モンキーセンター・所長/ 京都大学霊長類研究所・教授)

10:00 動物園の飼育係によるレクチャー Caretakers' Lectures

▶ 10:00 マモルの成長を見守り、それを一緒に支える動物園ならではの研究者との連携

Research collaboration in the Japan Monkey Centre looking after an infant chimpanzee, Mamoru

星野智紀(日本モンキーセンター) Tomoki HOSHINO/ Japan Monkey Centre..... p. 4

▶ 10:15 カバとクロサイの搬出ってどうするの?

How to move hippos and black rhinos between zoos

連有吾(愛媛県立とべ動物園) Yugo MURAJI/ Tobe Zoological Park of Ehime Pref..... p. 4

▶ 10:30 好奇心旺盛な子ゾウたち〜ドングリから タイヤまで〜

Curious elephant cubs: their naive experience to acorns, tires, etc...

米田弘樹(京都市動物園) Hiroki YONEDA/ Kyoto City Zoo..... p. 4

▶ 10:45 シャバーニの魅力ーかっこいいだけじゃない! リーダーとしての強さと優しさー

Shabani's appeal: not looking cool, but like a powerful and receptive leader

澁谷康(名古屋市東山動植物園) Yashushi SHIBUTANI Nagoya/ Higashiyama Zoo and Botanical Gardens** p. 4

▶ 11:00 キンシコウ来熊秘話

Anecdotes from some Golden snub-nosed monkeys' visit to Kumamoto

松崎正吉(熊本市動植物園) Masayoshi MATSUZAKI/ Kumamoto City Zoo..... p. 4

11:15 演者と会場参加者のフリートーク I Free Talk I

12:00 (昼食休憩) Lunch Break

午後の部

13:00 ポスター発表 Poster Session (無料休憩所にて終日掲載/ Rest area) .. p. 15~17
研究者や動物園スタッフが、日ごろの研究活動について、また動物や動物園のあれこれについて、
わかりやすくポスターの前でお話します。ぜひ足を運んでみてください。

14:20 動物園の飼育係によるレクチャー Caretakers' Lectures

▶ 14:20 カラフルなおサルをめぐる奮闘記

Struggling with the care of a colorful baby monkey

川口芳矢(よこはま動物園) Yoshiya KAWAGUCHI Yokohama Zoological Gardens..... p. 4

▶ 14:35 コータの異常な日常 ~チンパンジーのコータは、いかにして息子との距離感をつかめるようになったか~

Kohta's terrible days: how a male chimpanzee learnt to interact with his son Yamato

大地博史(わんぱーくこうちアニマルランド) Hiroshi OHOCHI/ Wanpark Kochi Animal Land** p. 4

▶ 14:50 ウマが合わない!? 複雑なシマウマ関係 ~安定した群れ作り・多頭展示を目指して~

Grooving zebras: an attempt at stable group management of multispecies exhibit

森本さやか(高知県立のいち動物公園) Sayaka MORIMOTO/ Noichi Zoological Park of Kochi Pref.** p. 4

15:05 演者と会場参加者のフリートーク II Free Talk II

15:50 基調講演 Keynote Lecture

▶ 15:50 動物園と博物館ーわたしたちがめざすもの 博物館教育の経験からー

Zoo and Museum: what educational experiences in a museum tell us about future directions

碓京子・井島真知 Kyoko IKARI & Machi ISHIMA..... p. 5

16:40 自由討論ー「博物館」としての動物園ー/Free Debate "Zoo as a museum"

コーディネーター:

伊谷原一 Gen'ichi IDANI (日本モンキーセンター・園長/ 京都大学野生動物研究センター・教授)

17:10 閉会のあいさつ Closing Remark

伊谷原一 Gen'ichi IDANI (京都大学野生動物研究センター・教授)

17:15 閉会



巻頭言

京都大学野生動物研究センターは、野生動物、特にその多くが絶滅に瀕している大型動物の保全に関する教育研究を行っています。その大きな特色の一つは、動物園や水族館との連携を重視していることです。野生動物を絶滅から守るには、フィールド（自然生息地）での研究・保全だけでなく、動物園・水族館で飼育されている貴重な野生動物の研究や保全、教育への利用を推進する事が重要だからです。このような考えから、本センターは、多くの動物園・水族館と正式に連携協定を結び、様々な動物に関する研究や教育、飼育環境や飼育法の改善を、動物園・水族館職員の方々と協力しながら進めてきました。2008年のセンター設立当初には3園館だった連携動物園・水族館も、現在では16園館（10動物園・6水族館）にまで増え、連携の輪は着実に広がっています。本シンポジウム「動物園大学」は、本センターと連携動物園の日ごろの連携の成果を広く一般の方々に知っていただくことを目的に毎年開催しているもので、今回が6回目の開催となります。また今年度は、連携水族館との新たな連携事業として「第1回水族館大学 in 京都：ウミガメ保全と大学・水族館」を京都大学で、「イルカ学：水族館からのアプローチ-水族館と大学とイルカの関係を考える」を須磨海浜水族園で開催いたしました。今後も、このようなシンポジウムを通じて、野生動物の研究・保全・教育に関する様々な課題を、動物園・水族館の職員と大学の研究者、NPO、動物に関心を持つ多くの人々が、共に考え、解決する体制を作ってゆきたいと考えています。本シンポジウムによって、これらの人々の交流と連携がさらに深まることを願っています。

2016年3月20日
京都大学野生動物研究センター
センター長 幸島 司郎



開催によせて

「ザーだなも。動物園大学⑥」の開催を、わたくしども公益財団法人日本モンキーセンター（略称 JMC）で、共催としてお引き受けしました。開催園を代表して歓迎の辞を一言申し上げます。犬山へようこそおいでくださいました。動物園大学は、京都大学野生動物研究センター（略称 WRC）が主催する社会貢献事業です。その WRC は、2008 年に、ときの京大総長・尾池和夫先生（現・京都造形芸術大学長）の支援で、霊長類研究所を母体に発足した研究施設です。絶滅危惧種の研究をします。ヒト以外の霊長類はおよそ 350 種類といわれますが、そのすべてが絶滅危惧種です。JMC はそのうち 65 種という世界最大の種数を誇る動物園です。実物を見て、彼らが暮らす自然の森に想いをはせてください。この機会に、京都大学と日本モンキーセンターの関係を説明します。JMC は、名古屋鉄道の支援のもと京大の霊長類研究を支援する財団として 1956 年に発足しました。今年で創立 60 周年です。2 年前の 2014 年 4 月 1 日に公益財団法人化しました。理事長は尾池和夫、所長は松沢哲郎（京大霊長類研究所教授）、博物館長は山極壽一（京大総長）、動物園長は伊谷原一（京大野生動物研究センター教授）です。とき同じくして 2013 年 10 月 1 日に、京都大学に 5 つ目のリーディング大学院として「霊長類学・ワイルドライフサイエンス（略称、PWS）」が設置されました。霊長類研究所と野生動物研究センターが主体となった教育事業です。PWS がこの動物園大学を後援しています。JMC の日頃の活動については、ホームページで多言語（日本語、英語、フランス語、ポルトガル語、中国語）で発信しています。ぜひ、ご照覧ください。

<http://www.japanmonkeycentre.org/>

2016 年 3 月 20 日
公益財団法人日本モンキーセンター
所長 松沢哲郎



動物園の飼育係によるレクチャー



星野智紀 日本モンキーセンター

工業高校にて電気を学んでいたがやっぱり動物にかかわる仕事がしたいと動物の専門学校へ。2004年より日本モンキーセンター勤務し始め、各施設の担当を転々とし様々な猿達に囲まれながら働く。4年前より大型類人猿たちのくらすアフリカセンターの担当になり、昨年タンザニアへ野生のチンパンジーを観察に行き、現在に至る。

マモルの成長を見守り、それを一緒に支える動物園ならではの研究者との連携

2014年7月、日本モンキーセンターでは14年ぶりとなるチンパンジー出産があり、生まれた男の子はマモルと名付けられました。子供の発達および母子関係を調べるため出産前から行動観察が続けられるとともに、産後、母親マルコに早期の発情の兆候が見られたことから性ホルモンの測定調査も行われています。京都大学霊長類研究所の研究者と連携しながらマモルたちを見守り、一緒に支えてきたお話を紹介します。



米田弘樹 京都市動物園

2010年4月に京都市に採用され、京都市動物園に配属となる。1年目は爬虫類(ホウシャガメ、ボールニシキヘビなど)や両生類(オオサンショウウオなど)、夜行性動物(インドオコウモリ、ヨツユビハリネズミなど)を担当する。2年目からアジアゾウの飼育担当となり現在に至る。2014年10月に「美都(メス・45歳)」の新ゾウ舎へのお引っ越し、同11月にラオスからゾウ4頭の導入という大変貴重な経験をする。

好奇心旺盛な子ゾウたち～ドングリからタイヤまで～

ラオスから京都市動物園にやって来たのは、オス1頭(3歳)にメス3頭(6歳、4歳、4歳)のまだまだあどけなさの残る子ゾウたち。そんな彼らは初めて目にするものに興味津々。日本の四季を楽しんでもらおうと夏にはスイカや氷、秋にはドングリといった旬のものをプレゼントしてみました。食べ物以外にもタイヤの遊具や砂の山を与えました。さらには、音楽なんかも流したりして。さあ、子ゾウたちの反応はいかが！？



松崎正吉 熊本市動物園

昭和54年熊本市役所入庁、食肉衛生検査所に配属される。昭和62～平成12年動物園勤務、このとき飼育動物の健康管理、診療を行いながら金縷猴の飼育、調査・研究に携わる。その後動物愛護センターにて通算6年「殺処分0」の取組に携わる。保健所等を経て、平成26年より動物園園長としてとして配属される。

キンシコウ来熊秘話

平成元年、熊本市制100周年、動物園開園60周年を記念して中国から金縷猴を借り受けることに。しかし、7月の来熊予定の1ヶ月前に中国・天安門事件が勃発。その金縷猴を中国へ返還後、「金縷猴をもう一度熊本に！」という声が日に日に高まり、平成5年、中国西安動物園より一番の金縷猴の再来熊が実現。繁殖にも成功し、現在5頭を飼育するが、金縷猴を飼育する最後の1園になった熊本は今後どうなっていくのか。



大地博史 わんぱくこうちアニマルランド

高知県出身。動物と全く関わりのない松山大学在籍時になぜか馬術部に入ったことが全ての始まりで、平成12年からわんぱくこうちアニマルランドで働いている。猛獣担当からスタートし、シマウマやカモシカ、両生爬虫類など色々な動物を経て、現在はチンパンジーやキツネザル、ヤイロチヨウやヤマアラシなどを担当している。

コータの異常な日常～チンパンジーのコータは、いかにして息子の距離感をつかめるようになったか～

「コータ」(26歳)は少々暴れん坊気質なチンパンジーで、メスが絡むとどうにも止まらなくなり、他の個体に怪我が絶えず、1年ほど単独飼育となっていました。野生では数十頭の群れでの社会生活が基本のチンパンジーに単独飼育はいかに！ということで、2015年5月から息子の「ヤマト」(16歳)との再同居を試みました。再同居開始当初は、2頭の闘争やピリピリとした空気感に悩まされたが、徐々に互いの立ち位置を把握し、今では問題なく過ごせるようになりました。今回は、そんな「コータ」と「ヤマト」、そして担当飼育員2人の計4人の、悩ましくも楽しい1年を紹介します。



連有吾 愛媛県立とべ動物園

大阪府出身。大阪の動物専門学校を卒業後、平成11年に愛媛県立とべ動物園に採用される。初めての担当はニホンザルやスイギュウ、シカなどアジアに生息する動物たちで、当時50頭近くいたニホンザルの個体識別に日々奮闘する。その後ジャガーやヒョウなどネコ科動物の担当を経て、現在のクロサイ、カバなど大型の草食動物を担当することになり、出産から搬出などに携わる。

カバとクロサイの搬出ってどうするの？

カバの「ユイ」とクロサイの「ライ」が他の動物園に移動することが決まり、2頭を安全に搬出するための準備を始めました。2頭は体重が1トン近くもあり、移動には大きな輸送箱やクレーン車が必要となり、ひとつひとつの準備も大掛かりです。一番の難関は2頭が輸送箱へ上手に入ることができるのか？動物種や施設の構造の違いにより移動の方法はいろいろですが、今回はとべ動物園でのカバとクロサイの搬出についてお話しします。



澁谷 康 名古屋市東山動植物園

島根県大田市出身。1985年5月名古屋市東山動物園に動物飼育職として採用される。マレーバク、トナカイ、オランウータン、チンパンジーなどの担当を経て、1996年4月よりニシローランドゴリラの飼育に携わる。シャバーニ導入前の2007年3月にはオーストラリアのタロンガ動物園へ飼育研修に赴き、最新の飼育技術を学んだ。

シャバーニの魅力～かっこいいだけじゃない！リーダーとしての強さと優しさ～

2007年に導入したニシローランドゴリラのシャバーニは、当初、メスを攻撃し群れを形成することができなかった。しかし、粘り強くメスとの対面を続け、3年後にようやく群れ飼育ができるようになり、2012年には繁殖にも成功した。シャバーニは次第に乱暴な行動をとらなくなり、現在は来園当初からは想像もつかないほど落ち着いている。また、弱い立場のゴリラを気づかうなど、常に群れの安定を図るよきリーダーとなっている。



川口芳矢 よこはま動物園

1999年4月、(公財)横浜市長の協会に採用され、開園時からよこはま動物園に飼育員として勤務。2007年から2年間、ウガンダ共和国のチンパンジーの森へ青年海外協力隊員として休職赴任。復職後、よこはま動物園でチンパンジー担当となる。2011年からアカアシドゥクラングールなどアジアのサル類を担当。

カラフルなおサルをめぐる奮闘記

身体の各部位で毛色が異なるカラフルなサル、アカアシドゥクラングール。木の葉が主食のこのサルをよこはま動物園では開園当初から飼育しています。飼育していたオス2頭のもとに待望のメスが来園したのが2012年。そこから繁殖に向けた取り組みが動き出しました。以来2014年に2頭の子ザルが人工哺育で、2015年には新たな2頭が母親の元で育っています。手探りだった人工哺育を中心にカラフルなおサルをめぐる奮闘記をお話しします。



森本さやか 高知県立のいち動物公園

北海道帯広畜産大学にて豚の魅力にとりつかれる。卒業後、平成21年から高知県立のいち動物公園に勤務。フタユビナメケモノなどの担当を経て、平成23年からグラントシマウマ、ベネットアカクビワラビーの担当になり現在に至る。動物たちに教わりながら、修行の日々を送っている。ヒトの子を育てる母としても修行中。

ウマが合わない！？複雑なシマウマ関係～安定した群れ作り・多頭展示を目指して～

皆さんは人間関係に悩まされたことはありませんか？シマウマ社会にも、実は複雑なシマウマ関係が存在します。現在、当園では個性豊かな6頭のシマウマたちを飼育しています。そのうち5頭での群れ作り・展示を目指していますが、そう簡単にはいかないもの。どこかでいざこざが起きてしまいます。担当者が感じた安定した群れ作りに必要なこととは？そして展示場での麒麟との関係は？知られざるシマウマたちの素顔をご紹介します。

基調講演

動物園と博物館 — わたしたちがめざすもの 博物館教育の経験から —

Zoo and Museum: what educational experiences in a museum tell us about future directions

博物館は、学術研究に基づいて、その内容を公共へ広く普及するという使命を持っています。この使命を果たすための柱が、展示や館の内外で行われる教育プログラム活動です。碓、井島は、博物館で恐竜を中心とした古生物学の展示や教育活動を行ってきました。そこで大切にしてきたのは、自館の研究や資料の特徴をどのように活かすか、ということでした。「世界最大」「初公開」などの煽り文句でない教育メッセージをどのようにして作っていったのか、博物館での展示づくりや教育プログラムの例をお話します。日本では動物園も博物館の1つとして分類されていて、同じく研究と教育という使命を持っています。動物を扱うか、資料や標本を扱うかという違いはあっても、教育のこと、集客のことなど、抱える悩みは共通しているように思います。教育メッセージを考えることは、博物館・動物園の存在意義を見つめ直すことにも関わります。私たちの経験は限られたものではありませんが、博物館での教育の実践例が、それぞれの館園のあり方や方向性を考えるきっかけになればと思います。



碓 京子 Kyoko IKARI

地質学専攻理学修士。1996年より林原自然科学博物館エディューターとして、脊椎動物、特に恐竜の進化、研究をテーマとした博物館常設展示、特別展示の企画、教育プログラム活動を行ってきた。2002年から4年間、株式会社バナソニックと共同で恐竜の博物館を開館、展示企画から人事育成までを担った。



井島真知 Machi ISHIMA

博物館教育を学んだ後、2001年より林原自然科学博物館エディューターとして碓と共に、展示、教育プログラムづくりを行う。



京都大学
霊長類学・ワイルドライフサイエンス・
リーディング大学院

京都大学ならではの「オンリーワン」「フィールドワーク」のプログラム

京都大学の基本目標は、地球社会の調和ある発展です。我が国の海外展開に欠かせない俯瞰力と国際性に富むリーダーを養成します。霊長類学は日本発のそして日本が世界を牽引する稀有な学問です。近年、霊長類学を基盤にし、大型の絶滅危惧種を対象にした「ワイルドライフサイエンス」という新興の学問分野が確立されつつあります。そこで必要とされているのは、フィールドワークを基盤として、人間のこころからだ・くらし・ゲムを包括的に理解しつつ、「地球社会の調和ある共存」を目指す実践活動です。

- (1) 生物保全の専門家として国連や国際機関・国際NGO等で働く若手人材
- (2) 博物館・動物園・水族館等におけるキュレーター（博士学芸員）、および、生息地で展開する博物館動物園としての「フィールドミュージアム」構想の具現者
- (3) 長い歳月をかけて一国を対象としたアウトリーチ活動を担う実践者

フィールドワークを礎に、学問と実践をつなぐグローバルリーダーの育成を目指します。

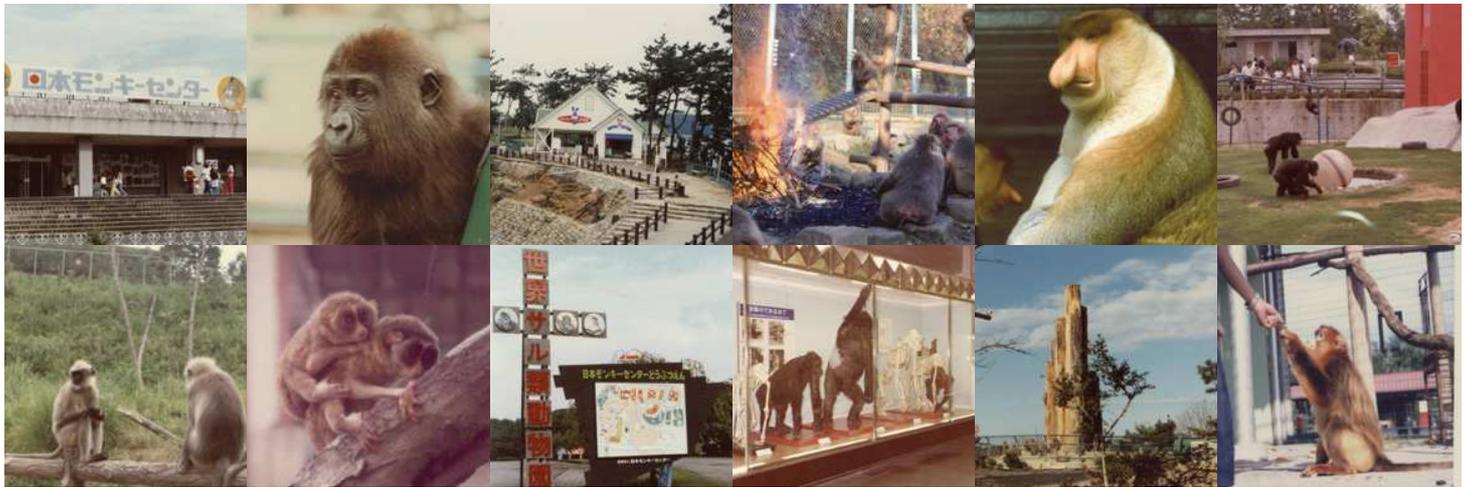
<http://www.wildlife-science.org/index.html>





60年前の1956年10月17日に 日本モンキーセンターは誕生しました。

Japan monkey centre was established in 60 years ago, on the October 17th, 1956.



日本モンキーセンターは、サル類の研究、保全、福祉向上、環境教育などを目的とした公益財団法人です。
附属世界サル類動物園では、世界最多種、60種以上約900頭の霊長類を飼育展示しています。

Japan monkey centre is a public interest incorporated foundation which aims to the reserch, conservation, welfare, environmental education of all the non-human primates.

We keep and exhibit more than 60 spesies, about 900 individuals which is the greatest variety of primates in the world.



主な施設紹介 -facility description-

ビジターセンター

Visitor center



ず～だなも。のメイン会場となるホールがあります。常設展示では剥製や骨格標本で霊長類の多様性を学ぶことができます。特別展「霊長類新常識」開催中。

無料休憩所

Rest area



ず～だなも。のポスター会場です。現在、京都造形芸術大学との連携で改修計画をすすめています。

モンキーバレイ

Monkey valley



ヤクニホンザル約150頭がくらす谷。イモ洗いや石打ちなど、さまざまな行動を見ることができます。

モンキースクランブル

Monkey scramble



頭上を自由に行き交う霊長類を観察することができます。エコドームでくらすフクロテナガザルのメロンは、人工哺育を経て両親のもとに戻ることができました。

リスザルの島

Squirrel monkey land



木々の生い茂る島で自由にくらすボリピアリスザルを、間近で観察することができます。この春、森の中に入ることができる「アドベンチャーコース」がオープン!

南米館

South american-house



屋内で小型のサルを、屋外で中型のサルを飼育展示しています。屋内ではワタボウシパンシェとクロミミマーモセットが子育て中です。

Waoランド

Wao land



ワオキツネザルがくらす島の中に入って、間近で観察することができます。さらにサルとの距離が縮まった「WILD ZONE(ワイルドゾーン)」がこの春オープン!

アフリカセンター

African center



チンパンジー、ゴリラ、マンドリル、夜行性のサルを飼育展示しています。チンパンジーのマモル(1才)は、たくさんの方に見守られてすくすく成長しています!

ご案内 -Information-

ご寄附のお願い

Support the Japan monkey centre

日本モンキーセンターは、霊長類をはじめとする野生動物の生息地保全、飼育下動物の心身の幸福、実践的な教育活動を推進しようとしています。しかし、それを実現するためには莫大な費用を要しますし、当財団の公益事業だけでそれを達成することはとうてい不可能です。みなさまのご支援・ご協力をお願いします。

寄付箱設置：ビジターセンター

ホームページよりクレジットカードでもご寄附いただけます。

モンキーセンター友の会

Tomo-no-kai membership

霊長類をはじめとした動物に関心をお持ちの方、霊長類の保全や福祉に貢献したいと考えている方、日本モンキーセンター附属世界サル類動物園をもっと楽しみたいという方のための会です!

1年間何度でも入園できるほか、会員限定イベント、ニューズレターもあります。

受付：ビジターセンター



これからも日本モンキーセンターをよろしく願いいたします。



ケイマンイワイグアナ
Cyclura cornuta



アオキコンゴウインコ
Ara glaucogularis



コジャコウネコ
Viverricula indica

～メダカからゾウまで～ゴリラもいるよ名古屋市東山動植物園

名古屋市東山動物園では、メダカからゾウまで約 500 種の多種多様な生物をご覧いただけます。

最近ではイケメンゴリラと称される「シャバーニ」が有名になりましたが、年齢の近い子どもゴリラ 2 頭が仲良く遊ぶ姿をご覧いただけるのは日本でここだけです。またメキシコウサギ、ラーテル、ソマリノロバ、コジャコウネコ、アオキコンゴウインコ、ケイマンイワイグアナ、ティウメダカは国内では東山動物園でしかご覧いただけません。

名古屋近隣に在住の方はもちろん、遠方にお住まいの方もユニークな動物を数多く飼育している東山動物園へぜひ足をお運びください。



ティウメダカ
Oryzias latipes



東山動植物園 Higashiyama ZOO & BOTANICAL GARDENS



メキシコウサギ
Romerolagus diazi



ラーテル
Mellivora capensis



ソマリノロバ
Equus africanus

熊本市動植物園



「森の都」、「水の都」ともうたわれる熊本市の中心市街地にほど近い、自然豊かな江津湖と隣接する動植物園です。

動物園ゾーンには、国内では当園でしか出会えないキンシコウやムネアカカンムリバトを含めた約120種750点もの動物たちがいます。植物ゾーンでは、日本庭園や温室があり、肥後六花をはじめ四季折々の色鮮やかな花や緑を年中楽しむことができます。

今年は、待望のマサイキリンの赤ちゃんも生まれ、域外保全の取り組みを含めた環境保全の教育普及活動に、ますます力をいれていきます！

TEL 096-368-4416

<http://www.ezooko.jp/>





TOBE ZOOLOGICAL PARK OF EHIME PREF. 愛媛県立とべ動物園

1988年に開園したとべ動物園は、約160種750点の動物を飼育しています。生息域ごとに動物が配置されているので、ゆっくり歩いてアメリカ→アフリカ→アジア→オーストラリア、世界の動物を観察することができます。



2015年に生まれたチンパンジーの「ミライ」と「ロッキー」すくすくと、たくましく育っています。

Children of chimpanzee are growing.

アフリカゾウの親子を見ることができるのは国内ではとべ動物園だけ。

人工哺育で育った9歳の媛ちゃん(左)も2歳の妹砥愛ちゃん(右)とすっかり仲良しです。

We are only Zoo that the family of African elephant can be seen in Japan.



この冬初めて登場したカピバラのお風呂は新しい冬の風物詩。目を細めて打たせ湯にあたるお父さんの表情はなんとも言えず満足そうです。

愛媛ならではの！！時々ミカン湯になります。

The family of Capybara take a bath and are relaxing.



とべ動物園の前身である道後動物園はニホンカワウソの飼育経験を持つたった一つの動物園でした。貴重な標本、記録は環境保全の大切さを語り継いでいます。

We have the experience which raised Japanese river otters.



よこはまのどうぶつえん



よこはま動物園

ズーラシア

昨年春に OPEN のサバンナエリアでリカオンの赤ちゃんが誕生！
今回産まれた 4 頭は飼育係に育てられました。
毎週土曜日 13:30～14:00 元気に公開中！



会いに来てね!!

釧路市動物園から
ホッキョクグマのツヨシも来園！
ますます賑やかな春のズーラシア！



春は他にも
イベント
盛りだくさん!!

野毛山動物園は
平成 28 年 4 月で 65 周年
その記念にミナミコアリクイの
「アサヒ(♂1 歳)」が来園！



4 月 2 日(土)開園 65 周年記念式典に
合わせて一般公開します！
記念式典では先着 200 名様に
ノベルティグッズをプレゼント

金沢自然公園

横浜市

金沢動物園

歩いて通り抜けられる
ようになるよ!!



4 月 22 日(金)オセアニア区にニューアルオープン！
オオカンガルーの展示場はウォークスルーになり
歩いて通り抜けることができます！
4 月 22 日～5 月 31 日まで
「オーストラリアまつり」開催中！



グ

ラ

ン

ド

オ

ー

ア

ン

大

京都市動物園



ホームページ



facebook

kyoto city zoo

明治36年4月に、市民の寄付により日本で2番目に誕生した京都市動物園。

平成21年11月に「動物園大好き市民会議」での議論を基に策定した、

共汗でつくる新「京都市動物園構想」に基づき、開園しながら進めてきた整備が完了し、

平成27年11月8日にグランドオープンの日を迎えました。

新しい魅力と見どころいっぱいの京都市動物園に、是非足をお運びください。



おとぎの国

平成23年7月完成



頭の上の橋を
ヤギが渡る姿が
見られます！

テンジクネズミやヤギなど
とのふれあいの場！

もうじゅうワールド

平成24年4月完成



檻の一部に二重網や強化
ガラスを採用、間近に観察
できます。

アフリカの草原

平成25年4月完成



キリンとシマウマを混合展示
木道の上からも観察できます。

ひかり・みず・みどりの 熱帯動物館

平成25年4月完成



様々な地域の熱帯に生息する
多様な動物を展示

ゴリラのおうち ～樹林のすみか～

平成26年4月完成



森をイメージした鉄柱の上を
動くゴリラの姿が大迫力！

京都の森

平成27年9月完成



棚田と小川を整備し、京都に
生息する動物を中心に展示

ゾウの森

平成27年7月完成



アジアゾウを群れて飼育し、
繁殖を目指しています。

正面エントランス

平成27年10月完成

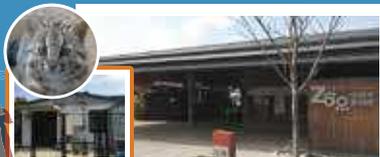


入園しなくても
利用可能に！

カフェを併設した図書館と
レストラン、ショップ、レク
チャールームを備えた施設

東エントランス

平成25年7月完成



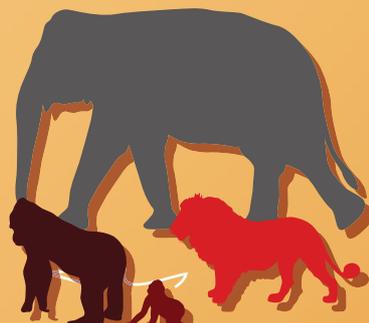
カフェ、ショップ、ギャラリー
を備え、ツシヤママネコ(非公
開)の繁殖に取り組んでいます。

管理棟・病院・ 救護センター

平成25年7月完成



動物の健康を管理する病院や、市
内の野生動物の保護もしています。



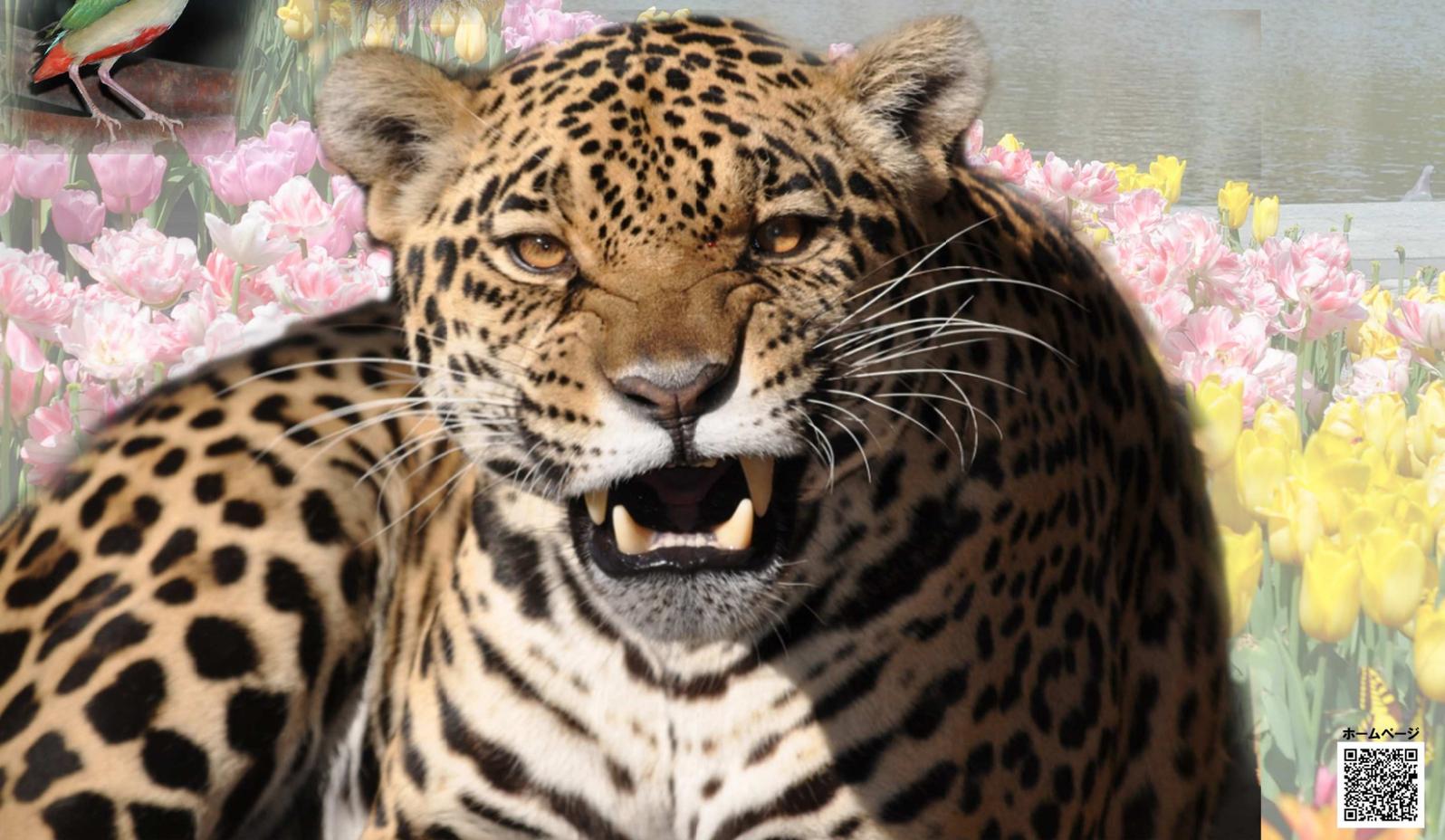
kyoto city zoo
京都市
動物園





わんぱくこうちアニマルランドは都市型のごちんまいとした動物園ですが、飼育動物種は100種近くおり、ライオンやトラやチンパンジーにもガラス窓越しに大接近できます。四国産の希少動物の飼育繁殖にも取り組んでおり、ニホンカモシカやオオイタサンショウウオ、そして高知県の県鳥・ヤイロチョウに出会うことができます。県内唯一の遊園地もあり、他にもアスレチックや滝など、自然がいっぱい・楽しさいっぱい♪

Wanpark Kochi Animal Land is a small urban zoo.
We have about one hundred species of animals.
You can get a close look at lions, tigers and chimpanzees through the cage of the glass window. We also work on rearing and breeding of rare animals in Shikoku, such as Japanese serow and Oita salamander.
You can see "pitta", which is the bird of Kochi prefecture.



ホームページ





来て、
見て、
感じてください。

NOICHI ZOO

高知県立のいち動物公園

Kochi Prefectural Noichi Zoological Park

入園料：大人 460 円

Admission : Adult 460 yen

無料：18 歳未満・高校生以下

Free of charge: Less than 18 years old, High school age and younger.

お問い合わせ
高知県香南市野市町大谷 738
☎ 0887-56-3500

For more information
738 Otani, Noichi-cho, Konan City, Kochi Prefecture
☎ 0887-56-3500

動物取扱業 / 展示 / 第 CE-33 号



Poster Session ポスター発表

01. 名古屋市内の野生ニホンリス保全活動をする中での環境教育活動
Environmental Education in the activities to conserve Wild Japanese Squirrels
in the forest of Nagoya
北山克己(守山リス研究会)

1990年から名古屋市の山地や近郊都市公園に生息する野生のニホンリス、ムササビ等を保全するために、生息環境を調べ、復元維持する調査活動を行いながら、住民や次世代をにう子ども達と家族に環境教育を実施。

02. 動物園における観客の存在が展示動物の行動に与える影響: 霊長類 3 種についての検討
The effect of zoo visitors on the behavior of captive three primate species

棚田晃成¹・藤田志歩¹・望月京也²・堤若菜²・峯下和久² (¹鹿児島大学農学部獣医学科・²平川動物公園)

ジェフロイクモザル、フサオマキザル、エリマキキツネザルの3種を対象に、動物園における観客の存在が展示動物の行動にどのような影響を及ぼし、観客との交渉が種によってどのように異なるのかについて検討した。

03. 環境エンリッチメントによるニホンザルの立体的な空間利用の変化
Climbing up! Evaluation of environmental enrichment for Japanese macaques

小倉匡俊¹・池田秀俊¹・小林郁美¹・西川夏実¹・阿部弘²・八巻明彦²・佐藤喜伸²・田山麗²・安曇正晃²・永倉頌子²・小野寺順也²・松浦晶央¹ (¹北里大学獣医学部・²八木山動物公園)

ニホンザルは半樹上性であり立体的な空間利用をおこなう。そうした空間利用を促す環境エンリッチメント(縄梯子・ハンモック・フィーダー)を仙台市八木山動物公園に設置し、空間利用と行動の変化を評価した。

04. 「アフリカのサバンナ」エリアを活用した環境学習プログラム
Environmental educational programs that take advantage of the African savanna area

須田朱美・渡辺海咲・松山薫・安部慶太郎・麻生千晶(よこはま動物園)
よこはま動物園では、平成27年に新エリア「アフリカのサバンナ」が全面開園しました。そのエリアを活用した、小学校低学年向けの環境学習プログラム「ゾーラシアアドベンチャー サバンナ探検隊」について紹介します。

05. アンケート調査に基づく日本におけるレッサーパンダの飼育環境および高齢個体の管理の現状
Current status of the captive environment and the management of elderly individuals of Red Panda in Japan

田中愛¹・松浦晶夫²・小倉匡俊² (¹北里大学大学院獣医学研究科・²北里大学獣医学部)

本研究はレッサーパンダを対象に、高齢個体の福祉に配慮した飼育管理手法の提案を目標としている。今回は日本における飼育状況と高齢個体管理の現状について知ることを目的に実施したアンケート調査の報告をする。

06. 京都市動物園を訪れる来園者にとってふれあいグラウンドはどのような役割を果たしているのか
The function of the petting zoo at Kyoto City Zoo

土井穂波¹・山田一憲¹・田中正之²・和田晴太郎²・中道正之¹ (¹大阪大学大学院・²京都市動物園)

ふれあいグラウンドを訪れる来園者へのアンケートと行動観察から、グラウンドでの飼育展示係との会話や動物との触れ合いを通して、来園者は楽しみ、知らず知らずのうちの動物に関する発見を得ていることがわかった。

07. 第一回環境エンリッチメント実践型ワークショップの開催@京都市動物園
Report of the workshop of environmental enrichment for zoo animals in the Kyoto City Zoo

山梨裕美¹²・橋本直子¹²・田中正之³・和田晴太郎³・岡橋要³・長尾充徳³・岡部光太³・島田かなえ³・小倉匡俊²⁴・萩原慎太郎²⁵・三家詩織²³・山崎彩夏²⁶ (¹京都大学・²SHAPE-Japan・³京都市動物園・⁴北里大学・⁵福山市動物園・⁶多摩動物公園)

京都市動物園にて、第一回環境エンリッチメントワークショップを開催した。研究者と全国の飼育担当者の講演、さらに3種のコネコ科動物を対象にした環境エンリッチメントの実践をおこなった。当日の様子を報告する。

08. チンパンジーの高齢出産と未熟児の人工哺育
Late childbearing of the childcare inexperienced chimpanzee and the artificial nursing for the immature baby

竹田正志(熊本市動植物園)
育児未経験の高齢個体の妊娠に伴い、出産・育児対策を計画実施した。しかし、双子未熟児の早産と哺乳不全による衰弱、母親の育児放棄兆候から、人工哺育へと転換するも、衰弱・死亡に至った経過を報告する。

09. ピーコさんの50年
50 years of Pieko's life story
竹菴明日香¹・藤岡隆二¹・山口進也¹・大沼友有子² (¹横浜市立野毛山動物園・²横浜市繁殖センター)

開園65周年を迎える野毛山動物園。その歴史を1番長く見てきたチンパンジーのピーコさんはアフリカから横浜へ来園し、今年で50年を迎えます。様々な出来事乗り越えてきたピーコさんの半世紀の歩みと現在の様子を紹介します。

10. チンパンジーのヨシズ~来園から初めての出産、その後~
Yoshizu, the chimpanzee ~the diary of her life at the zoo since arrival and her first delivery~

野口忠孝¹・平賀真紀¹・小倉典子¹・井川阿久里¹・森村成樹² (¹よこはま動物園・²京都大学)

来園時、繁殖未経験であったヨシズが、新たな群れで他個体の交尾、出産、育児に直接することで学び、今回それらを一通り実践することが出来た。子は死亡してしまったが、まだ若いヨシズの今後の繁殖に期待したい。

11. 隠れたゾウガメを探せ! プロジェクトⅢ
The project of look for hidden Aldabra Giant tortoise family, genus *Dipsoschelys*. Part III

谷佳明¹・藤谷武史¹・安川雄一郎² (¹名古屋市東山動物園・²高田爬虫類研究所)
アルダブラゾウガメの中に近縁種のセーシェルヒラセゾウガメとセーシェルセマルゾウガメが隠れていないか国内飼育個体の調査を試み、19園館56頭の形態比較と一部の個体に関して遺伝子解析を行ったので報告する。

12. ボルネオオランウータン (*Pongo pygmaeus*) における精子液状保存方法の開発について
Liquid storage of Bornean Orangutan (*Pongo pygmaeus*) sperm

尾崎康彦¹・木下こづえ²・久世濃子³・宮川悦子⁴・中村智行⁵・小林智男⁶・尾形光昭⁷ (¹名古屋市立大学・²京都大学・³国立科学博物館・⁴横浜市立金沢動物園・⁵千葉市動物公園・⁶横浜市立よこはま動物園・⁷横浜市繁殖センター)

オランウータンの基礎的な精液の性状を把握するため、無麻酔下で採取した2頭の雄の精液について、凝固部と液状部における運動精子率の時間変化について調べ、併せて保存温度および保存液の検討を行った。

13. 動物園の楽しみ方
How to enjoy the zoo
池田敬明(愛媛県立とべ動物園)

愛媛県立とべ動物園ではお客様に楽しい思い出を提供するために、開園当初よりふれあいイベントや餌やり体験、キーパーによるガイド等を多く催しています。その一部をご紹介します。

14. 楽しみながら学ぶ工夫 モンキータウン「ヒヒ祭り」
A way to learn while having fun "Baboon Festival" in Tobe Zoo
竹箇平昭信(愛媛県立とべ動物園)

とべ動物園ではヒヒの仲間を20頭飼育しています。2015年1月1日を「ヒヒの日」として「ヒヒ祭り」をスタートしました。①元気なヒヒ②手作り看板③ヒヒ係のガイドの3点セットで楽しくヒヒの生き様を学んでもらう試みです。

15. 京都市動物園の幼獣オスキリンのフレーメンについて
A 9-month-old male calf giraffe at Kyoto City Zoo flehmened
川北安奈・山田一憲・中道正之(大阪大学人間科学部)

京都市動物園のオスキリン(ウリュウ)の5ヵ月齢から13ヵ月齢までの行動を解析した。9ヵ月齢でフレーメンが観察されたが、これは比較的早い時期に見られたと考えられるため、他の性的な行動とも合わせて報告する。

16. カリフォルニアアシカの抜歯手術に向けたハズバンドリートレーニング
A husbandry training for an extracting a tooth of California sea lion
近藤由香・堀江俊介・立川佳晴・広瀬直人・大島啓(世界淡水魚園水族館)
平成27年4月に世界淡水魚園水族館でカリフォルニアアシカの抜歯手

術を実施するに伴い、事前に保定なしでのレントゲン撮影と、手術当日のケージ収容に係るハズバンドリートレーニングを試みた。

17. ミッション・糞ポッシブル2：うんちの“かたち”を研究しよう
Mission Im” poop” ssible2 : Put feceses on the desk and observe them
丸山啓志¹²・森本直記¹・大島由子³・吉澤聡悟³・塩湯一希³・池光愛美³・角川雅俊⁴・水口大輔²⁵・高谷真樹¹・松岡廣繁¹ (1 京都大学大学院理学研究科・2 日本学術振興会特別研究員・3 京都水族館・4 小樽水族館・5 京都大学野生動物研究センター)

鯨脚類の糞を対象に、有機溶剤で消毒・脱水・脱脂を行うことで、安全な糞形態ハンズ・オン標本を作成した。これにより、薄片観察やX線CT撮像による糞内部構造の観察及び教育普及活動が可能となった。

18. チンパンジーの給餌内容・給餌方法の改善
The improvement of captive chimpanzees' diets
藤森唯・ゴドジャリ静・山中淳史・林美里 (京都大学霊長類研究所)
京都大学霊長類研究所のチンパンジー12 個体を対象に給餌内容や給餌方法の見直しと改善をおこなっている。現在、体重の推移などを考慮しながら1日あたりの摂取エネルギー量や給餌品目バランスなどを調整している。

19. ブラジルバクにおける授乳期間観察および発達の調査
Lactation period observation and Growth survey in Brazilian Tapir
荒崎祐輔 (京都市動物園)
バク科の子の生育過程における報告は少なく、飼育下繁殖を継続していく上で哺育時期の情報の蓄積は重要である。そこで今回の調査では子の成長に伴う授乳頻度や授乳時間の変化を中心に子の生育過程の様子を調査した。

20. 熊本サンクチュアリの雄チンパンジーの毎日～日替わりエンリッチメントの評価と社会交渉の調査～
Effects of day to day feeding enrichment on behaviors of chimpanzees in Kumamoto Sanctuary
辻内祐美¹・野上悦子²・山梨裕美²・平田聡² (1 日本モンキーセンター・2 京都大学)
熊本サンクチュアリでは曜日ごとに異なる内容の採食エンリッチメントをおこなっている。今回雄グループのチンパンジーを対象に、活動時間配分を調べることでその効果を検討した。十分な効果があることが示された。

21. 2015 国際テナガザル年の活動報告
The Year of the Gibbons 2015
森田菜摘¹⁵・前田洋一²⁵・綿貫宏史朗³⁵・竹田正人⁴⁵ (1 横浜市立金沢動物園・2 愛媛県立とべ動物園・3 日本モンキーセンター・4 宮崎市フェニックス自然動物園・5 日本動物園水族館協会)
2015 年は IUCN (国際自然保護連合) が提唱する国際テナガザル年であった。絶滅が危惧されているテナガザルの野生の現状についての関心を高める契機となることを目的に、国内の動物園でもイベントを実施した。

22. 飼育下のインドゾウの飼育環境改善の試み
A trial of the environment improvement in a captive Indian elephant
藤澤加悦¹・佐藤英雄¹・飯野雄治¹・古田洋¹・太田真琴¹・田中正之² (1 よこはま動物園・2 京都市動物園)
当園で飼育中のインドゾウ (メス) において、朝方の常同行動時間が長いことが分かっている。そこで試行的に飼育環境を変化させたときの行動変化を調査し、実際に飼育環境の改善につながっているのかを検討した。

23. 高知県立のいち動物公園でのアサギマダラ移動調査 2015
Migration investigation 2015 of the chestnut tiger butterfly (*Parantica sita*) at the noichi zoological park of kochi prefecture
牛腸典代・斎藤隼・森本さやか・大野真奈・井上久美子・のいち動物公園ボランティアーズ (高知県立のいち動物公園)
アサギマダラ (*Parantica sita*) は、世代交代をしながら渡りをすることで知られるチョウで、高知県立のいち動物公園には、毎年10月に本州から飛来する。その2015年の移動調査について報告する。

24. シロビタイムジオウムの人工育雛について
Artificial hand-rearing of Goffin' s Cockatoo
山崎由希・吉澤未来 (わんぱくこうちアニマルランド)
わんぱくこうちアニマルランドでは1993年の開園よりシロビタイムジオウムの飼育している。2015年に日本動物園水族館協会加盟園館として初めて本種の人工育雛に成功したため、その経過を報告する。

25. 札幌市円山動物園チンパンジー屋内展示室へのボルダリング設置
Build Bouldering Walls for Chimpanzee at Sapporo Maruyama Zoo
堀田里佳¹・柴田千賀子²・石橋佑規²・川野弘幸²・土佐貴樹²・足利真弘²・羽深久夫¹ (1 札幌市立大学大学院デザイン研究科・2 札幌市円山動物園)
積雪寒冷地の札幌で暮らすチンパンジーの屋内生活を豊かにするために、屋内展示室の高さ8mの壁面へのボルダリング設置を行った。設置後の利用過程を3ヶ月間調査した結果を報告する。

26. 飼育ハンドウイルカにおける協力行動
Cooperative behavior in captive bottlenose dolphins
山本知里¹・柏木伸幸²・西村主織²・酒井麻衣³・天野雅男¹・友永雅己⁴ (1 長崎大学大学院・2 かごしま水族館・3 近畿大学・4 京都大学)
ハンドウイルカが行う協力行動を調べるため、2頭が同時にひもを引いた時のみ報酬が得られる装置を用いて実験を行った。試行回数が増えるにつれ、成功率は上がった。発表では失敗の原因についても示す。

27. ロボットが動物園にやってきた～ロボットを活用した動物園案内の試み
A robot has come to Kyoto City Zoo! -An attempt of zoo guide utilizing a robot
吉田信明¹・鈴木勝宏²・原祥介²・大西匡明²・西村洋泰²・迫田翔哉²・高島良彰³・田中正之⁴・和田晴太郎⁴・高木直子⁴・釜鳴宏枝⁴・酒井俊英¹・中村優¹・塩瀬隆之⁵ (1 京都高度技術研究所・2 AIVICK・3 コーデンシ株式会社・4 京都市動物園・5 京都大学)
京都市動物園において、ロボットによる動物園案内のイベント (動物園紹介のプレゼンテーションとスタンプラリー) を2016年2月、6日間にわたり実施した。本イベントの概要と経過を報告する。

28. ゼニガタアザラシ (*Phoca vitulina*) 飼育個体への新奇物体提示実験
Behavioral responses of captive harbor seals (*Phoca vitulina*) to novel objects and foods
木村舞子 (北海道大学大学院)
ゼニガタアザラシは定置網内で漁獲物を捕食する。本種の認知や学習の能力を明らかにすることで、漁業被害への対策を立てることが可能だと考え、水族館にて新奇物体および生物を提示する実験を行っている。

29. アクア・トトギふにおける食虫動物の飼育展示例
The keeping and exhibition of insectivorous mammals in an aquarium, Aqua-totto Gifu
風間麻未 (世界淡水魚園水族館 アクア・トトギふ)
アクア・トトギふでは、これまでカワネズミ、コウベモグラ、モモジロコウモリなどの食虫動物の飼育・展示を行ってきた。今回は前例の少ないこれら食虫動物の詳細な飼育方法と展示事例を紹介します。

30. 骨格標本を使ったワンポイントガイドや出前授業などの活動
Introduction of educational activities using skeletal preparations
吉澤未来・斎藤瞬 (わんぱくこうちアニマルランド)
頭骨や全身骨格標本を用いて行っている教育的活動を紹介する。実物の骨格を使うことで、ワンポイントガイドや企画展において、解説への導入及び展示充実にも効果的だった。また、小学校への出前授業のメニューに骨格標本を用いた教材も準備している。

31. うちのネコ科動物に環境エンリッチメント実践型ワークショップを実施しましてん ～ワークショップのその後～
After the Workshop of Environmental Enrichment for Big Cats in Kyoto City Zoo
岡部光太¹・田中正之¹・和田晴太郎¹・岡橋要¹・長尾充徳¹・門竜一郎¹・島田かなえ¹・山梨裕美²³・橋本直子³⁴・小倉匡俊³⁵・萩原慎太郎³⁶・三家詩織¹³・山崎彩夏³⁷ (1 京都市動物園・2 京都大学・3 SHAPE-Japan・4 京都大学・5 北里大学・6 福山市動物園・7 多摩動物公園)
京都市動物園において、第一回環境エンリッチメントワークショップを開催した。3種のネコ科動物を対象にした環境エンリッチメントのグッズ、その後の行動変化、飼育現場での応用について報告する。

32. レッサーパンダの性格分析
Personality analysis in red panda (*Ailurus fulgens*)
森本和香乃¹・山本千尋¹・金澤裕司²・堀裕亮³・村山美穂³・竹内浩昭¹ (1 静岡大学・2 静岡市立日本平動物園・3 京都大学)
レッサーパンダの性格を正しく評価するための研究です。遺伝学的解析では性格との関連が示唆される遺伝子多型を調べました。行動学的解析で

は新奇物体に対する反応と性格アンケートの結果との関連を調べました。

33. ニシローランドゴリラの遊びの発達変化と遊び道具の比較

Comparison of playing behaviors and playing tools in western lowland gorillas at the Howletts and Port Lympne Wild Animal Park, UK

松原 幹 (中京大学)

ニシゴリラの運動能力や社会的スキルの発達には、遊びが必要不可欠である。遊び行動と使われる物体の年齢による変化について、繁殖実績の高さで知られる英国のハウレッツ・ポートリム野生動物公園を例に報告する。

34. 日本モンキーセンターにおける霊長類のより深い理解を目的とした体験型イベントの取り組み

Experience programs at JapanMonkeyCentre that aim to provide deeper understanding for primates

坂口真悟・荒木謙太・石田崇斗・大島悠輝 (日本モンキーセンター)

2015年よりヒヒやチンパンジーなどを対象に、エンリッチメントへの理解を深めるための体験型イベントを開始した。従来のおやつ作り体験も観察を中心とした内容に変更した。これらの体験型イベントについて紹介する。

35. アカアシドゥクラングール乳児の発達に伴う腸内細菌の変化

Developmental change of gut microbiota in red-shanked douc langur infants

早川卓志¹²・澤田晶子¹・川口芳矢³・松田一希¹ (1 京都大学・2 日本モンキーセンター・3 よこはま動物園)

腸内細菌は出生時、乳児が外界に晒されることで定着が始まる。本研究はよこはま動物園の人工保育のアカアシドゥクラングールから糞便を集めDNAから細菌種を網羅同定し、成長や栄養に伴う腸内細菌の変化を調べた。

36. 飼育下マカク類における「かじり木」の有用性

Usefulness of wood block as an environmental enrichment for captive macaques

橋本直子・山中淳史・西岡享子 (京都大学霊長類研究所)

本研究所では餌品目の少なさや環境の単調さを補う目的で、マカク類の放飼場やケージ環境に、生木やツープイフォー材を用いた「かじり木」を導入している。利用頻度などモニタリング結果から有用性を検討する。

37. 国内飼育下グレイシマウマにおける卵巣活動と妊娠状況の全頭調査

Survey of reproductive status of female Grevy's zebras in Japanese zoos

村上清香¹・楠田哲士¹・土井 守¹・伊藤英之² (1 岐阜大学応用生物科学部・2 京都市動物園)

国内での繁殖推進の一環として、個体移動による新たなペア形成が近年積極的に行われている。繁殖計画における個体選抜の参考にすべく、雌全頭を対象に排卵等の卵巣活動と妊娠の状況を内分泌学的に明らかにした。

38. 飼育下チーターにおける育子行動パターンの変化と発情回帰との関連性

Relationship between maternal behavioral pattern and recurrence of estrus in captive cheetah

木村凜¹・楠田哲士¹・北村昭二²・齋藤恵理子²・川上茂久²・足立樹¹³・土井守¹ (1 岐阜大学応用生物科学部・2 群馬サファリパーク・3 九十九島動物園)

出産後5ヶ月間の調査で、授乳と母子間グルーミングは夜間より日中に多く発現した。発情は糞中エストロゲン動態に基づき25日目に回帰し、86日目に降は14.3日の周期性が確認され、授乳行動量の減少との関連がみられた。

39. インドサイの泌乳期における乳成分変化と繁殖状態の関係

Relationship between milk constituent change and reproductive status in greater one-horned rhinoceros

吉見綾音¹・河上巴¹・楠田哲士¹・先崎優²・箕浦睦也¹・八代田真人¹・土井 守¹ (1 岐阜大学応用生物科学部・2 横浜市立金沢動物園)

インドサイの出産後22ヶ月間の乳成分変化と繁殖状態との関連性を調べるため、乳蛋白・乳脂肪・乳糖・カルシウム濃度を測定した。出産前後、発情回帰時期、離乳期にそれぞれ成分濃度または組成が顕著に変化していた。

40. 飼育下雄アムールヤマネコの生殖腺活動の季節性と年齢差

Seasonality and the age difference of gonadal activity in male Amur leopard cat

舟橋昂¹・楠田哲士¹・佐々木真一²・田島日出男²・堀達也³・土井守¹ (1 岐阜大学応用生物科学部・2 井の頭自然文化園・3 日本獣医生命科学大学)

飼育下アムールヤマネコにおける精巣活動レベルは、糞中アンドロジェン動態から0~1歳の個体で低く、4歳以上で1~2月に最も活発になる年周期性が認められたが、9歳以上では低下している可能性が推察された。

41. 飼育下チンパンジーにおける母の拍手行動の出現と減少

Hand-clapping by mother chimpanzee in captivity

平栗明実¹・川上文人¹²・市野悦子¹・Chloe Gonseth¹・Anne-Claire Idoux³・林美里¹ (1 京都大学・2 日本学術振興会・3 National Veterinary School of Toulouse)

チンパンジーのジェスチャーを発達的な視点から探るため、飼育下の母から子へ向けられた拍手行動に着目した。母子間に身体的な距離が出現しはじめた頃にはよくみられたが、子の成長に伴いその頻度は減少した。

42. 野生ボルネオ・オランウータンの雌の妊娠と果実生産量の関係

The relationship between pregnancy of wild Borneo Orangutan and fruit productivity

久世濃子¹²・金森朝子³・山崎彩夏⁴・田島知之³・Renata Mendonça³・Henry Bernard⁵・Titol Peter Malim⁶・河野礼子¹ (1 国立科学博物館・2 日本学術振興会・3 京都大学・4 東京動物園協会・5 University Malaysia Sabah・6 Sabah Wildlife Department)

2005年~2015年に、ダナム・バレイ森林保護区において、6頭の雌の妊娠・出産を調べた結果、ほとんどの妊娠が一斉結実期の直前に起きている一方、非結実期には妊娠がほとんど見られなかった。

43. マンドリルへのおがくずを利用したエンリッチメントの取り組み

Woodchips for mandrill

廣澤麻里¹²・奥村太基¹・根本慧¹・廣川百恵¹・坂口真悟¹ (1 日本モンキーセンター・2 京都大学野生動物研究センター)

日本モンキーセンターで単独飼育しているマンドリルの屋外放飼場に、床材としておがくずを導入した。採食行動を中心に、マンドリルの行動変化を紹介する。

44. 飼育チンパンジーにおける性周期の認知実験参加への影響

Correlation between participation in cognitive experiments and estrous cycle in captive chimpanzees

市野悦子・友永雅己 (京都大学霊長類研究所)

京大霊長研で認知実験に参加しているチンパンジーにおいて、クレオとクロエという女性個体の性周期に着目し、認知実験参加への影響を調査した。その結果、自身の性周期が影響を及ぼしていることが示唆された。

45. 飼育チンパンジーの体毛中ストレスホルモンの長期モニタリング

Long term monitoring of stress using hair cortisol in captive chimpanzees

寺本研¹・山梨裕美¹・野上悦子¹・森裕介¹・森村成樹¹・平田聡 (京都大学熊本サルクチュアリ)

野生動物研究センター・熊本サルクチュアリで飼育されている59個体を対象に、2013年から体毛中コルチゾルによるストレスホルモンの長期モニタリングを行ってきた。このモニタリングから何が見えてきたかを紹介する。

46. 日本モンキーセンターでのヤクニホンザル群の歴史と特徴的な行動について

Histry and characteristic behavior of Japanese Yaku-Macaque group in JMC

山田将也・堀込亮寛・鏡味芳宏 (日本モンキーセンター)

日本モンキーセンターでは、ヤクニホンザル群の飼育管理を1957年3月から始めた。現施設に移動してからは、イモ洗い行動など特徴的な行動が確認されている。これまでの個体群の歴史と特徴的な行動について紹介する。

47. アビシニアコロブス新生子に対する群れの養育行動の変化 (Allomothering of Abyssinian Colobus)

奥村太基¹・根本慧¹・廣川類¹・菊田恭介¹・打越万喜子¹²・綿貫宏史朗¹² (1 日本モンキーセンター・2 京都大学)

2015年7月12日に日本モンキーセンターでアビシニアコロブスの赤ん坊が産まれた。その際、アビシニアコロブスに特有の養育行動が見られたため、その養育行動が赤ん坊の成長とともにどのように変化したかを紹介する。

動物園大学がめざすもの

1. 動物のよりよい暮らしのサポート (飼育技術の向上)
2. 動物や動物をとりまく環境の理解 (飼育下から野生まで)
3. 動物の健康・繁殖・福祉の充実



京都大学および連携する動物園が協力して、情報交換・共同開発・教育普及をおこなうプロジェクトです。

ずんだなも。



動物園大学

検索



主催

京都大学野生動物研究センター

共催

公財 日本モンキーセンター

京都市動物園

名古屋市東山動物園

公財 横浜市緑の協会 (よこはま動物園、野毛山動物園、金沢動物園)

熊本市動物園

愛媛県立とべ動物園

わんぱくこうちアニマルランド

高知県立のいち動物公園

後援

公社 日本動物園水族館協会 愛知県教育委員会 岐阜県教育委員会

大山市 大山市教育委員会

共同利用・共同研究拠点事業

「絶滅の危機に瀕する野生動物 (大型哺乳類) の保全に関する研究拠点」

京都大学 霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院

2016年「ずんだなも。動物園大学⑥ in 犬山」事務局

幸島司郎(京都大学野生動物研究センター 教授・センター長)

伊谷原一(京都大学野生動物研究センター 教授)

友永雅己(京都大学霊長類研究所 准教授)

森村成樹(京都大学野生動物研究センター 特定准教授)

高橋佐和子(京都大学野生動物研究センター 事務掛)

